

講習の名称：アジアのなかの日本—近現代史から考える

担当講師：今井 就稔^{なるみ}（教育学部准教授）

講習開講日：2019年8月18日（日）

時間数：6時間

主な受講対象者：社会科を担当する小・中・高教諭、その他受講したい人はどなたでも。
このようなご時世だからこそ、中国の社会の特徴や日中関係史、さらには日本とアジアのつながりについて、少し冷静に考えてみたいなど思っている人はとくに歓迎いたします。

キーワード：日中関係、近代

講習の概要：私の専門は中国の近現代史なのですが、今回の講習では中学校までに学習する日本史的内容を、中国史を含めたアジアのなかでとらえ直すことを目的とします。具体的には、「鎖国」・「ペリー来航」・「日清・日露戦争」・「不平等条約」・「第一次世界大戦」・「女性の社会進出」・「米騒動」・「国家総動員法」あたりの内容をテーマと時間数を勘案してしゃべりたいと考えています。が、これを書いている段階ではまだ半年近く先のことなので、日中関係の動向によっては時事的な問題とも関連づけやすいテーマに一部変更する可能性もあります。

講習の展開：

- 第1時限 東アジアの近世
- 第2時限 日本というまとまり
- 第3時限 大正時代の日本
- 第4時限 食から見る近代

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

とくにありません。レベルは他と比較したことがないので不明です。義務教育段階の社会科の知識があればいいように、また、義務教育課程の社会科の内容に引きつけて話ができるよう、私も準備いたします。

授業の形式：雑談・対話を交えながらの講義形式。簡単な資料の書き取りなどもやる予定です。暑い時期なのに面倒なイベントですが、まあ、せつかなので楽しくやりましょう！

履修認定試験：平常点、簡単かつ形式的なテスト

テキスト・参考文献：

テキスト 使用しません プリントでやります。

参考文献は、全般的なものはありませんが手に入りやすいもの・読みやすいものとして以下のものを挙げておきます。事前に購入というよりは、終わった後興味があったものを手に取っていただく感じでOKです。

岸本美緒『東アジアの近世』山川出版社、1998年

岡本隆司『近代中国史』ちくま新書、2013年

大豆生田稔『お米と食の近代史』吉川弘文館、2007年

※連絡先： imainarumi@gunma-u.ac.jp いつでもどうぞ！